

第82回サイエンスカフェ
2013.9.20(金) 18:30-20:30

神経細胞の働きとアルツハイマー病

ゲスト 放送大学客員教授 室伏 擴 さん
コーディネーター
お茶の水女子大学教授 室伏きみ子 さん

20世紀から21世紀にかけて、神経細胞の機能の解明は著しく進みましたが、それぞれの神経細胞がどのような回路を形成し、それらがどのようなかたちで脳の機能を担っているかについてはよくわかっていません。21世紀は脳の時代といわれ、脳内すべての神経細胞の活動地図の解明が計画されており、ゲノム計画に続く生物学の大きな進展が期待されます。

一方、ヒトの高齢化に伴い、老人性認知症の中で最大の割合を占めるアルツハイマー病の原因の究明と治療法の確立が大きな問題となっています。

今回は、神経細胞の働きがどのように解明されてきたかについて概説し、あわせてアルツハイマー病研究の現状と今後の進展の可能性についてお話しします。

会場: サロン・ド・FUZAMBO Folio
千代田区神田神保町1-3 富山房ビルB1
Tel: 03-3291-5153 E-mail: folio@fuzambo-intl.com
参加料 1名 1,000円 (1ドリンク、デザート付)
主催: 日本学術会議・富山房インターナショナル